



長寿大国日本の熟年パワーが各県代表として茨城県石岡市で激突！

通称「ネンリンピック」
敵対心むき出しの結果は？

2007年11月11日 茨城県石岡市
ねんりんピック茨城 2007

開会式は雨だった

厚生労働省主催の第20回全国健康福祉祭いばらぎ大会は、平成19年11月10日(土)～13日(火)茨城県下19市2町で開始された。

初日は総合開会式であるが、各種目の参加者も総合開会式には絶対参加しなければならないから大変だ。

開会式会場はオリエンティアにはおなじみのひたちなか市笠松運動公園で、常陸宮殿下同妃殿下ご臨席で行なわれたがあいにくの雨、入場行進は中止し、厚生労働大臣舩添要一をトップに主催者の挨拶と常陸宮殿下のお言葉が滞りなく終わると昼食休憩になった。

ネンリンピックでもメジャーでないオリエンテリング種目は毎年に行なわれない。スポーツ交流大会(10種目)の常連参加種目と異なり、開催自治体がふれあいスポーツ交流大会の種目として約3年前には決定しないと行なわれない。

オリエンテリングは平成16年の群馬大会以来だから3年振りである。どうやら来年の鹿児島大会も再来年の札幌大会も予定がなく、3年後の石川県大会まで待たなければならないようだ。

昼食後メインアトラクションが予定より1時間以上早く始まった。全参加者と一校一県交流運動の県内64小学校の児童2,800人を雨降るスタンドに座らせて、これでもか！これでもか！と演じている。

メインアトラクションは「筑波山名物ガマの油売り口上」でスタート、地上14mの妙技「撞舞」、「親子の河童ダンス」茨城県ゆかりの坂本九さんが歌った「ジェンカ」で出演者全員が踊りながら登場し、茨城県自慢の伝統の技と熱い心意気がフィールドに吹き抜けた。



グラウンドが水浸しの中、雨を吹き飛ばす熱演を行なったアトラクション

ネンリンピックを助長しよう

偶にしか出場できないネンリンピックでも開会式で入場行進はなかなか気分の良いものだ。揃いのユニホームでメインスタンド前のパフォーマンスは各選手団其々の特徴とユーモアがあって楽しい。

群馬大会で筆者は山形県選手団の旗手に指名され、結団式で県知事から団長を通して県旗を受け取り、入場行進の際メインスタンド前で旗手の名前を読み上げられたときはとても誇らしく思えたものだ。列中で行進している者も人生の終着にして一流のアスリート気分を味わい、オリンピックの開会式もさもありなんと感じるのである。

近年、開会式は許される範囲で開催県の特徴をアピールしているようだ。茨城大会では降雨のため残念ながら選手団行進は中止されたが、実施されれば山形県選手団がメインスタンド前通過の時、選手団コメントを筆者が紹介する予定でした。アナウンサー気分で山形県の多世代同居率日本一と美味しいお米と名産のさくらんぼに山形牛を紹介するつもりで居ましたが、中止になり残念に思っています。

前項でも述べましたが、ネンリンピックでオリエンテリングが行なわれない年は何を行っているかというウォークラリーである。

今年から団塊の世代が定年年齢に達し始めて、ネンリンピックの有りよう

も再考の時期であると考え、全国ネンリンピック担当者会議にオリエンテリングとウォークラリーが同時開催種目に採択されるよう意見提案してもらいました。

行政の役人には、人口少数県や地方の意見にはなかなか耳を傾けてくれないことが状態なので大変なことは十分承知しています。

しかし、何もしなければ何年たってもわれわれの希望としている採択がなされませんので、機会を積極的に作って全国的な声として粘り強く提案する必要がありますと考えます。

若者7年を経ると待たなしでネンリンピック参加年齢になります。オリエンテリングが国体種目として採択が困難なこともあり、全国スポレクに毎年開催運動と併せ、ネンリンピック毎年採択運動の展開をしませんか。

是非、若者も含めてオリエンティア全員の協力をいただき全国運動が出来ないものか考えています。

オリエンテリングは、身体の老化防止と頭脳の認知症防止には最適のスポーツであることを認識させましょう。

ネンリンピックスコア大会

石岡市の茨城県畜産センター周辺で行なわれたオリエンテリング大会はスコア0。チームの編成条件は60歳以上男女に関係なく3名で構成する。

前日の代表者会議から火花が散っていたがどのチームを見てもメンバーは超ベテランで現役バリバリの猛者連中

ばかりである。

前回、準優勝と最高齢者賞を獲得した我がチームもメンバー不足で素人と女性を投入してどうにか参加できたくらいだから、楽しみ半分だが抱負には「入賞を狙います」と書いたもんだから、ライバルと思っているチームがスタート前から覗き見に現われてはメンバーを見て、それとなく安心してくれたようだ。

スタート前に配布された地図を見てこのエリアなら制限時間内(90分)に全部取れると思ってしまった、が、同行の家内から「一人で抜け駆けは絶対駄目だからね」と釘を刺されて断念した。表彰式で結果が発表されて満点チームが居たことを思えばわれわれでも満点に挑戦できたと思う。

ネンリンピックでは10位まで入賞表彰する。特に3位までの入賞チームには賞状とトロフィーの外数々の副賞として県の名産品が贈呈される。その他にも特別表彰として最高齢者賞や高齢者賞があり、時には最遠方賞が出ることもある。

(武石雄市)



今回の最高齢者賞は石川県チームのお馴染み、孫田三郎さんが受賞された。

ネンリンピック2007入賞チーム

- 愛知県 (小野、新見、小幡)
- 静岡県 (坂本、藤田、内田)
- 山梨県 (酒井、山本尚、山本茂)
- 4 大阪府 (岩井、池田、小田切)
- 5 岡山県 (浜上、山縣、梶房)
- 6 京都府 (吉田、水口、大岩)
- 7 石川県 (孫田、池端、森田)
- 8 茨城県央 (嶋田、諏訪、高橋)
- 9 島根県 (曾田、黒崎、本田)
- 10 山形県 (武石、八木沢、武石ヶ)



1位 愛知県チーム



ネンリンピック2007で使用のスコア-O地図。畜産センター東部、風土記の丘付近

地図はネンリンピック用に縮尺1:7500、等高線間隔2.5mなので見かけより楽な走行が出来る。西側の畜産センター付近と異なり、良く見ると一筆書きで廻れるがいつもの縮尺をイメージして、つい遠くのコントロールをあきらめる癖が抜けない。



2位 静岡県チーム

個人優勝者
 男子 大塚 浩市
 女子 浅倉 富子